

平成24年度公共事業等事前評価調書（簡易型）

（森林整備の効率化による評価）

（区分） **国補** 県単

事業名	事業箇所	南巨摩郡 富士川町 十谷	地区名	あしならしとうげごうしせん 足馴峠2号支線	事業主体	山梨県																														
<p>(1) 事業概要</p> <p>① 課題・背景 本箇所は、南巨摩郡富士川町十谷の大柳川左岸に広がる県有林内に位置し、利用区域73haの88%を占める64haがヒノキ・カラマツを中心とした人工林で、全てが伐期に達している。 本路線を整備することにより、主伐・収穫間伐を主体とした効率的な森林整備が可能となり、適正な森林の維持管理が図られる。</p> <p>② 整備目標・効果 <input type="checkbox"/> 主要目標 ○森林整備の効率化 ・利用区域内の人工林における伐採対象人工林の割合 92.7% ≥ 36.5%※ ・利用区域内の人工林率 87.9% ≥ 69.9%※ ・徒歩で30分以内に到達できる範囲内森林の人工林率 98.1% ≥ 70.0%※ <small>※評価基準値</small></p> <input type="checkbox"/> 副次効果 ○林業生産力の向上（新たな輸送ルートの確保及び高性能林業機械の導入による低コスト化） ○防火帯・延焼遮断帯の確保（延焼防止に資する防火帯の新たな確保） <p>③ 目標の達成方法 森林整備対象箇所に直結する路網計画により、高性能林業機械による低コスト化及び森林整備の効率化を図る。</p>																																				
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>① 整備内容 林業専用道開設 L=2,700m、W=3.5m</p> <p>② 整備期間 平成25年度～平成30年度</p> <p>③ 総事業費 165百万円（国費83百万円）（補助率50%）</p> <p>④ 全体計画</p> <table border="1"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>開設</td> <td>L=</td> <td>400m</td> <td>25百万円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>開設</td> <td>L=</td> <td>400m</td> <td>25百万円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>開設</td> <td>L=</td> <td>400m</td> <td>25百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>開設</td> <td>L=</td> <td>500m</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>開設</td> <td>L=</td> <td>500m</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>開設</td> <td>L=</td> <td>500m</td> <td>30百万円</td> </tr> </table> <p>⑤ 既整備内容・期間・事業費 なし。</p>							平成25年度	開設	L=	400m	25百万円	平成26年度	開設	L=	400m	25百万円	平成27年度	開設	L=	400m	25百万円	平成28年度	開設	L=	500m	30百万円	平成29年度	開設	L=	500m	30百万円	平成30年度	開設	L=	500m	30百万円
平成25年度	開設	L=	400m	25百万円																																
平成26年度	開設	L=	400m	25百万円																																
平成27年度	開設	L=	400m	25百万円																																
平成28年度	開設	L=	500m	30百万円																																
平成29年度	開設	L=	500m	30百万円																																
平成30年度	開設	L=	500m	30百万円																																
<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>① 公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> <small>妥当・妥当でない</small></p> <ul style="list-style-type: none"> 森林・林業基本法第6条の地方公共団体の責務に該当 <p>② 事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 森林所有者として県の施工が妥当 <p>③ 経済妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 1.42 > 1.0 ・便益(B) = 230百万円 ・費用(C) = 161百万円</p> <p>④ 事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 森林基幹道足馴峠線から分岐する路線であり、計画的な森林整備の実施も確実で、利用区域面積からも効果的な事業規模で妥当である。 <p>⑤ 整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 森林整備の推進を図る目的から林道事業による整備が有効である。 <p>⑥ 環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 波型線形を採用し、路線用地の伐開幅は最小限となるよう留意する。 雨水等の排水処理は、短区間で行う計画とする。 <p>⑦ 事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用区域は全て県有林であり、管理計画に基づく事業計画である。 <p>< 妥当性評価 > <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 7項目全て妥当であることから、妥当と判断する。 <p>(4) 事業間優先度評価 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 貢献度ランク：a、副次効果ランク：1 ∴ 優先度評価：S I <p>総合評価 ・(3)及び(4)の結果から「優先的に実施」</p> <p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: center;">省 略</p>																																				